

第2章 第3期区民会議の審議状況

1. 全体会と企画部会

1) 全体会

合計4回の全体会を開催しました。審議テーマの選出・専門部会の立ち上げ、専門部会の審議結果報告・意見交換の他、第2期の提案に対する取組状況報告や宮前区の計画に関する報告などを行いました。

	平成22年5月27日（木）
第1回	<p>【議事】 グループワークによる意見交換 今後のスケジュール 【その他】 正副委員長の選出 第3期宮前区区民会議の進め方</p>
第2回	平成22年8月3日（火）
	<p>【議事】 企画部会報告 審議テーマの選定と所属部会の決定 フレ部会と意見交換 【報告】 第2期提案事業の進捗状況 区の協働推進事業 平成21年度事業評価</p>
第3回	平成22年11月11日（木）
	<p>【議事】 企画部会報告 専門部会からの報告と意見交換 【報告】 第3期実行計画案 区の地域課題対応事業 平成23年度計画案 第2期提案事業の進捗状況</p>
第4回	平成23年2月10日（木）
	<p>【議事】 企画部会からの報告 専門部会からの報告と意見交換 区民会議フォーラム 【報告】 第3期実行計画案 宮前区区計画 第2期区民会議の提案事業の進捗状況</p>

2) 企画部会

合計4回の企画部会を開催しました。全体会に先立っての意見交換、資料の検討や専門部会の進行管理、区民会議フォーラムの企画など区民会議運営の進行確認・管理に関する検討を行いました。

第1回	平成22年7月21日（水） ・審議テーマ候補の検討 等
第2回	平成22年10月29日（金） ・企画部会・部会長の選出 ・第3回全体会の議事 ・企画部会からの報告 ・専門部会における検討状況
第3回	平成23年2月1日（火） ・第4回全体会の議事 ・専門部会における検討状況 （共通事項、活力づくり部会、地産知笑部会） ・企画部会からの報告事項 （区民会議フォーラム、中間報告）
第4回	平成23年3月8日（火） ・区民会議フォーラム ・専門部会における検討状況

全体会・企画部会を通じ、第3期の議論を行うにあたってベースとなるコミュニティづくりのイメージ、ターゲットやアプローチの手段など共通事項を共有しました。



▲第1回全体会で行われた意識共有・審議テーマ抽出のためのグループワーク

■第3期の議論の前提となる共通イメージ・合意事項

「宮前区らしさ・地域特性を活かす」

現状 「宮前区」と離れた生活

- 都心直結、典型的な近郊住宅地
- ◆東京と横浜という情報発信地に挟まれている
- ◆コアとなるターミナル駅や産業集積地がない
- ◆搬入出など人の入れ替わりが激しく、核家族や単身世帯が増え、地縁・血縁が薄れている
- ◆昼夜間人口比率が約70%と市内で最も低く、寝るために帰るだけの場所になっている

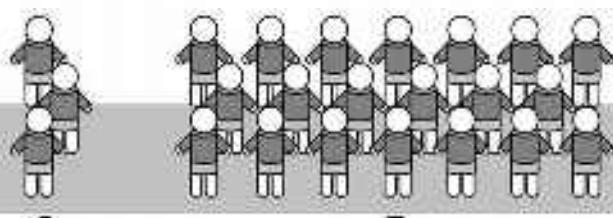
生活するうえで地域社会と接する機会が少ないため、「宮前区」を知らない

STEP 1 地域と接点

- ◆外から入ってきた人たちは、地域に馴染んでいない
 - ◆近所で顔の見える関係性がある
 - ◆あいさつが交わし合える、良好なコミュニケーション
 - ◆「お互いさま」という意識
 - ◆地域の行事やイベントに参加する雰囲気
- 地域への愛着と帰属感をもつて、「宮前区」を意識する

宮前区に住んでいても、
地域社会と接点を持っていない人たち

- A きっかけさえあれば、すぐにでも地域に参加する層
- B 自ら積極的に参加するわけではないが、地域社会に対するアレルギーがない層
- C 地域社会に向きもしない、関わりたくない層 etc...



引き込む

地域

地域社会と接点を持つ

①興味を引く =

したコミュニティづくり」イメージ

気持ち、参加する

らが
めるようにしたい
を樂きたい
る
ユニークーション
交えあいの精神
などに、義務感ではなく、
がある

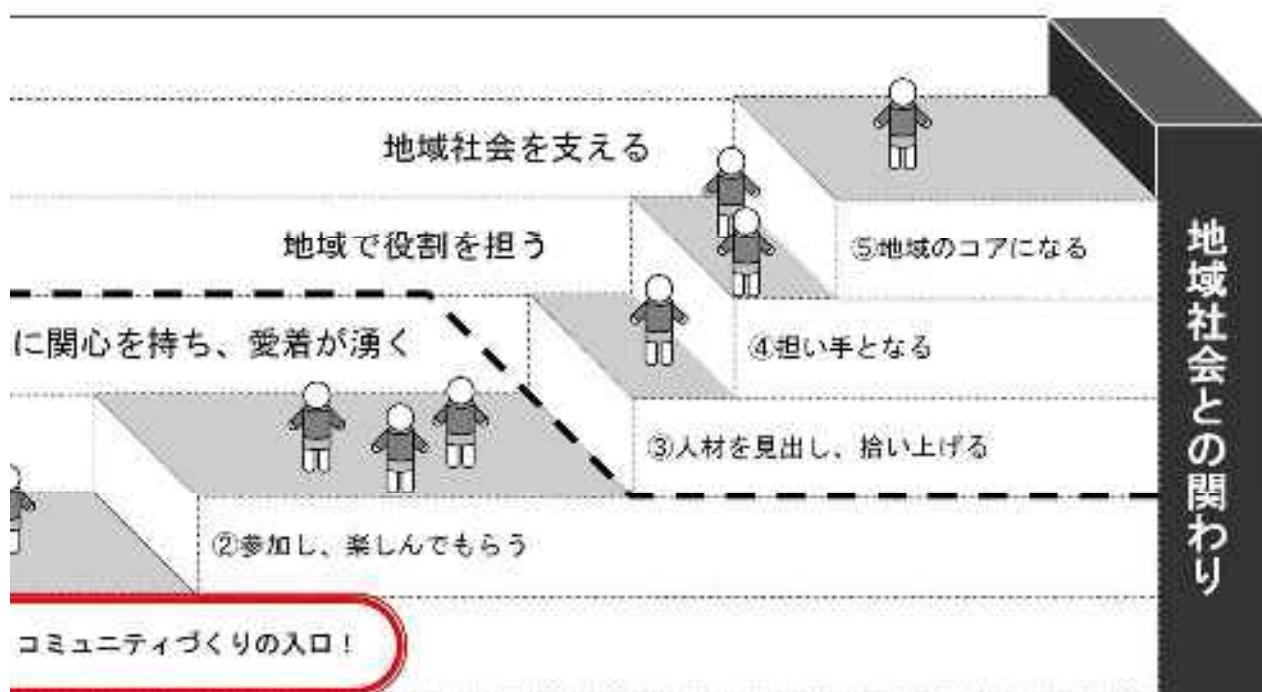
意識をつくるため、
る機会を多くする

STEP 2 関わりを段階的に深める

地域との関わりを段階的に深め、
さまざまな地域活動への参加につなげる

- ・市民活動団体（テーマ別活動）
- ・町内会・自治会（地域別活動）
- ・ボランティア活動
- ・趣味の団体
- ・商店街や都市農業など区内の産業

活動への参加を促進し、取組を通じて、
住民の連帯感や団体の連携につなげる



コミュニティづくりに向けた合意事項～宮前

当面の目標

宮前区の基礎力アップ！地域社会の土壤づくりをしよう！

- ・区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、地元への愛着や帰属意識をつくる
- ・地域社会と接点を持ち、地域社会に参加する人たちを増やす

ターゲット

今は宮前区と離れた生活をしていても、地域に参加する素養がある層

- ・きっかけさえあれば、すぐにでも地域社会に参加する層
- ・自ら積極的に自ら参加するわけではないが、地域社会に対してアレルギーがない層

宮前区に住んでいる or 長年住んでさたが、
これまで特に地域社会と
関わらないで来た人たち



例) 会社人間、シニア世代

核家族や共働きなどで、宮前区は単に
寝るだけになってしまっている人たち



例) 川崎都民

地縁・血縁があるわけではなく、
田園都市線のイメージに惹かれ
なんとなく宮前区を選んだ人たち



例) 子育て世代、田園都市線マダム？

宮前区に引っ越しして来ただばかりの人たち



例) 移入者、子育て世代

アプローチ

まずは「宮前区」に対してポジティブな気持ちを持ってもらおう

- ・区民のうち、ターゲットとなる層は、宮前区や地域社会に対して「見向きもしない」のではなく、「気が付いていない」だけなので、「宮前区」というまちや地域社会に対し、「楽しそう」「面白そう」「好奇心が湧く」「共感できる」といったポジティブな感情を起こすことで、興味を持ってもらおう

区を、ただ「住む」だけでなく「暮らす」場所に～

打ち出し方

「生活の楽しみ方」や「まちとの付き合い方」をプロデュース

「宮前区での生活の楽しみ方」、「このまちとの上手な付き合い方」などを打ち出し、まずは宮前区の「まち」に興味を持ってもらい、それを支えている「人」と交流することで、無理なく自然と地域社会に入って来てもらおう！

◆宮前区での生活の楽しみ方

せっかく宮前区に住んでいるなら、宮前区や近所のコトをほとんど知らないまま毎日を過ごすよりも、少しずつでも宮前区のことについて知ったり近所の人たちと交流したりすれば、もっと生活が充実するよ！

◆このまちとの上手な付き合い方

宮前区に家を建てたりして、これからこの場所で暮らしていくなら、「坂が多い」とか「高齢になったら大変だ」とか嘆くんじゃなくて、「高齢者になった時に困らないように、坂を健康づくりに活かす」など、このまちと上手に付き合っていく方法を身に付けよう！

今後の検討

これを題材に、こんな仕掛けづくりをしたら、こういうコミュニティづくりに繋がるんじゃないかという仕組みを各部会で答えていく。例えば…

